

きょうの

セカンド オピニオン

涙がたぐさん出るのにドライアイと診断され不思議に思うかもしれません。ドライアイは涙の量が少ないため目が乾く症状だけではなく、加齢などで涙の成分が不安定になった状態も含む疾患なのです。

病気を引き起こすさまざまな要因のうち、考えられる原因は主に二つ。目の表面は目を保護する涙の蒸発を防ぐため油膜で覆われているのですが、その油膜に使う油が目から出なくなっている可能性があります。もう一つは、白目が老化でたるんでしわができ、そのしわが涙を鼻の奥に流す「涙管」と呼ばれる目頭の「排出口」を覆い、あふれ出ているのかもしれない。油膜の油を出しているのは、まつ毛の根元にある「マイ

A 老化による油膜不足

イボーム腺」。その腺が老化でつまると、蒸発を補うため涙が多く出てしまします。目に風があたると刺激と蒸発が進むことで、さらに涙が出ます。腺のつまりを和らげるためまぶたを温めたり、寝る前に軟こうを塗って治療したりします。

白目のしわが原因の場合は、しわで涙が目全体に行き届かず乾いて傷がつき、その刺激で涙が増え症状が悪化している可能性があります。潤滑成分や炎症を抑える成分の入った目薬をさし、重症であれば手術でしわをとることもあります。

近ごろはマイボーム腺の状態を確認できる赤外線のカメラが開発され、簡単に診察できます。若い人で腺がつまると、涙が出るより目の乾きを訴えるケースが多いですね。若くて涙がよく出る場合は、アレルギーによる炎症の恐れがあります。【聞き手・桐野耕一】

|| 随時掲載

答える人



伊藤医院
有田玲子副院長
(眼科)

ご相談 募集します

体の悩みや症状を募集します。住所、氏名、年齢、電話番号を記入し〒100-8051毎日新聞医療福祉部「きょうのセカンドオピニオン」係へ。ファクスは03・3212・3978。メールはiryo@mainichi.co.jp